誰もが抱える悩みをパパッと解決!

福田貴一先生の福が来るアドバイス

中学受験で得られるもの

早稲田アカデミー
第六事業部（城東・千葉エリア）
統括責任者
福田　貴一

中学受験をすることで得られるものは何でしょうか。まず思い付くのは、「合格」や「憧れの学校で過ごす6年間」などでしょう。ただ、それらはあくまで〝入試〟という選抜試験の結果に過ぎません。私は「経験」だと考えています。入試という大きな目標に自分の力で立ち向かい、悔しさや困難を乗り越えた「経験」こそが、お子様を成長させ、その後の人生を支える力になると、信じています。

箱根駅伝を目指して

先日、大学時代の友人と食事をする機会がありました。その友人はある有名企業の執行役員を務めており、新卒社員の採用も担当しています。そのとき、ある日の採用面接に箱根駅伝を目指している大学4年生がやってきた、という話を聞きました。その学生は面接で、「予選会には出場したことがあるのですが、まだ本選で箱根を走ったことはありません。4年生として最後の箱根を目指し、今も一生懸命練習しています。そのため会社訪問がほとんどできず、筆記試験にも自信が持てなくて……」と話したそうです。面接の結果は、合格。すぐに内定の連絡をしたようです。友人に採用決定の理由を尋ねたところ、「箱根駅伝を目指してやってきた人ならば、将来必ず戦力になるから」という答えが返ってきました。

同じように、甲子園を目指して真剣に練習に取り組んでいた人も、就職活動ではその経験が評価されると聞いたことがあります。

箱根駅伝にしても甲子園にしても、大きな目標を目指す過程には、つらいことや苦しいこともあるでしょう。地方大会を目指すのと、その上の全国大会を目指すのとでは、練習の厳しさも違うはずです。また、それらを乗り越えたとしても、優勝できるチームは全国でたった1チームだけしかありません。その他の多くのチームは、敗戦という「悔しさ」を味わうことになります。しかし、目標に向かって真剣に取り組んだのであれば、その「悔しさ」は次のステージで必ず生きる、と思うのです。

中学受験で得られる「経験」

私は、中学受験でも同じことがいえると考えています。受験という大きな目標に向けて、さまざまな困難を乗り越えながら、ひたむきに努力を続ける小学生は、箱根駅伝を目指している大学生や、甲子園を目指している高校生と何も違いはないでしょう。

目標が大きければ大きいほど、その途中にある厳しさや苦しさも大きく、ときには涙を流したり、逃げ出したくなったりすることもあるはずです。その「涙」や「弱気になった自分」を振り払ってもう一度前を向き、最後まで諦めずに目標を追い続けた日々は、中学受験を目指す過程で得られる一番大きなものだと、私は考えています。

「学力」とは「学ぶための力」

ある中学校の先生がおっしゃっていました。「入試の結果は〝得点〟という数字で出てくるものですが、私たちが試したいのは〝どれだけの数字を出せるか〟ではありません。これからこの学校で学ぶための力、〝学力〟があるかどうかなのです」

私立中学校の入試問題は学校によってそれぞれ特色があります。それは、「この学校で学ぶためにはこういう力が必要ですよ」という中学校からのメッセージだと考えています。そう考えると、学習への取り組み方や学習姿勢・意識にも変化が生まれてくるはずです。「入試で合格点をとる」という学習から、「中学校で学ぶ力を付けるため」の学習を進める、という変化です。

この「次のステージで学ぶ力」こそ、中学受験で得られる「もうひとつの大きなもの」だと考えています。そして、入試の結果がどうであれ、身に付けた〝学力〟が消えてしまうことはありません。

中学入試の結果が、進学先という「次のステージ」を決めるものであることは確かです。ただ、そこで決まった学校がどこであったとしても、その学校で自分が身に付けた力を生かしていくことさえできれば、中学受験に向けた努力は、決して無駄にならないはずです。よくいわれる「入試に失敗はない」とは、こういう意味なのだと思います。

子どもの成長に気付いた卒業式

ある生徒のお母様からうかがったお話です。その生徒は中学受験で思うように実力を発揮できず、第三志望の学校への進学が決まっていました。そして迎えた小学校の卒業式。お母様は壇上のお子様の顔を見て、その姿と表情に大きな成長を感じ、ハッとしたということです。その姿を見た瞬間に、心の片隅に残っていたネガティブな気持ちは全て吹っ切れたそうです。中学受験を経験したことで、お子様が本当にたくましく成長したと感じたからだとおっしゃっていました。

大きな出来事や何かのきっかけによって人は成長し、変わっていくものです。自分の思いと家族の思いを背負って、自分の未来を決める試験に臨む。それだけでも、12歳の少年少女にとっては大きな試練でしょう。また、必ず合格・不合格のどちらかで返ってくる結果を真正面から受け止めることは、どちらの結果であったとしても大きな気持ちの揺れを伴うはずです。さらに、自分だけではなく、同じ教室で目標に向かって同じように努力をしてきた仲間の結果を受け止めることも……。それらの経験を通して、子どもたちは確実に成長していくと思います。

「『中学受験という選択肢を選んで良かった』と心の底から思えました」。お母様の言葉を、とてもうれしく受け止めさせていただきました。

この記事が掲載されるころ、「平成最後の中学受験」も終わっているはずです。大きな目標に真剣に取り組んで、たくましく成長し、次のステージへと向かっていく生徒たちに大きな拍手を送りたいと思います。

早稲田アカデミー　ホームページにて
福田 貴一の 四つ葉cafe　公開中!

中学受験をお考えの小学校３・４年生のお子様をお持ちの保護者様のためのブログです。
早稲田アカデミー
第六事業部
（城東・千葉エリア）
統括責任者
福田 貴一

中学受験に関するブログを公開しています。このブログでは、学習計画の立て方、やる気の引き出し方、テストの成績の見方、学校情報など、中学入試に関するさまざまなことについて書いています。

詳細はホームページをご確認ください。
早稲田アカデミー　検索
左の二次元バーコードを読み込んでご確認下さい
スマートフォンのみ対応